

## 『さあら と そおら』



さあらは6年前に18才で亡くなった初代の猫、そおらは現在3才の二代目の猫です。二人とも女の子です。

さあらは横浜の山手で捨て猫の里親探しをされていたサガラさんからいただいた猫で、サガラさんの濁音をとってさあらと名付けました。白黒の雑種で、鼻の周りにやっこさんのような模様があるのですが、迷子になっても探しやすくだらうというのと、シッポの骨がクランク状なのも「幸運のカギシッポよ」とサガラさんがおっしゃるので、飼うことにしました。

1995年の1月14日に我が家に来たのですが、その3日後の1月17日にあの阪神淡路大震災が発生しました。私は当時旧運輸省でトラック輸送を担当する自動車交通局貨物課長で、被災地への救援物資輸送や霊柩運送（ご遺体も貨物なのです）の差配で、連日遅くまで休日も出勤という生活が続きました。

飼い始めの一番大事な時期でしたので、さあらは妻の由希子をご主人、私は夜中に

ゴソゴソ帰ってくる怪しいオジサンと認識してしまいました。さらにまずいことに、震災対応も一段落した休日の朝に、さあらのゴハンちょうだい攻撃に慣れていない私は、つい起きて給仕してしまいました。

これで由希子、さあら、久泰の序列が完成し、由希子の帰宅時はさあらが玄関で出迎えるのに私の帰宅は無視という状況になりました。ゴハンちょうだい攻撃も、体に飛び乗ってくるのから、究極は耳元で息を吹きかける耳フーまで高度になりました。

さあらは水を嫌がらない猫で、ぬるま湯で20分位長風呂するのが好きでした。子供のいない我が家の大事な娘として、病気一つせずに元気に過ごしていましたが、2012年に私が退官し夫婦でフランス旅行に行こうとしていた矢先に、突然食べなくなりました。毎年予防接種に通っていたオカモト先生は、高齢だし無理な検査をするより薬と点滴で様子をみましようとおっしゃいます。旅行もキャンセルし看病しましたが、一か月後の日曜日に由希子の膝の上でコトンと息をひきとりました。

その後2年ほど喪に服していたのですが、そろそろ次を探しに動物愛護センターへ行こうかと話していた2015年の1月初めに、由希子が元町のペットショップでそおらを見つけてしまったのです。鼻筋に七五三のような模様のあるグレーのブリティッシュショートヘアーです。

次の週末は北海道の小六さん倍賞さんの別荘に遊びに行き、その次は海外出張で3週目によく私もご対面に行きました。すると毎週2万円ずつ値段が下がっています。このまま売れないとマズイというのと、次も白黒がよかったのですが「白と黒を合わせればグレーよ」という千恵さんの一言で、二代目に決定しました。そしてさあ

らと私の今の仕事にちなんでそおらと名付けました。

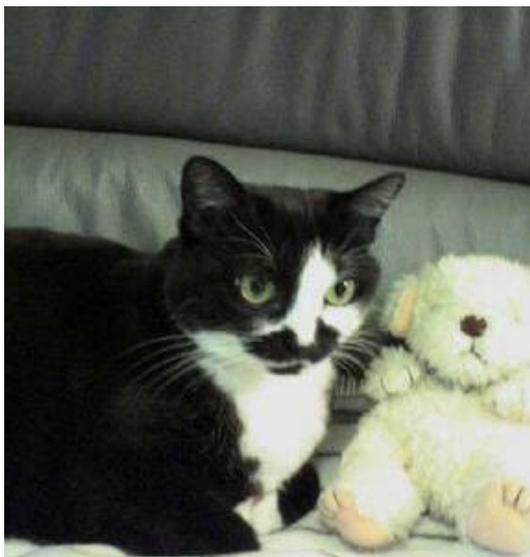
そおらのマイブームはセミ取りで、ベランダからくわえてきてリビングで追いかけ回して遊びます。遊び疲れたところに由希子がそっと外へ逃がすのをくり返しています。が、一応セミ取り名人とたたえてあげています。

さあらの時の反省から序列には気を付けていましたが、ある日出張から帰ると私のテンピュール枕がそおらのベッドになっていました。くぼみ具合がちょうどいいとのことで私は客用枕に降格になり、三人で川の字で寝ることになりました。先日アウトレットでエアウィーヴ枕を購入し復権を果たしたかと思いきや、そおらはそちらの感触を確かめています。由希子もクッションが違うのではと言い出す始末で、またまた立場が危うい今日この頃です。

日本空港ビルデング株式会社 代表取締役副社長  
元海上保安庁長官

鈴木 久泰

鈴木久泰



さあら



そおら